



MUNAKATA ECO
International Symposium

海の鎮守の森プロジェクト
宗像国際環境会議

[HTTPS://WWW.MUNAKATA-ECO.JP/](https://www.munakata-eco.jp/)

第10回 宗像国際環境会議

MUNAKATA ECO INTERNATIONAL SYMPOSIUM

常若 生命文明への歩み

TOKOWAKA

企 画 書

令和5年10月5日

宗像国際環境会議

宗像国際環境会議は平成26年（2014年）に設立され、沿岸部に広がる磯焼け、海洋ゴミ問題を中心に「海の鎮守の森」構想を掲げ、海の再生事業に取り組んでいます。

宗像国際環境会議実行委員会

宗像漁業協同組合、筑前七浦の会、宗像環境団体連絡協議会、改革プロジェクト、麒麟ビール、シャボン玉石けん、TOTO、トヨタ自動車九州、トヨタプロダクションエンジニアリング、西日本電信電話、日本航空、日本製鉄、日鉄エンジニアリング、三菱商事、九州経済フォーラム、地域企業連合会九州連携機構、国際ロータリー第2700地区、九州大学大学院工学研究院、福岡県立水産高等学校、JICA九州、九州国際支援協会、JASCA全国学生連携機構、社叢学会、九州のムラ、宗像観光協会、宗像大社、宗像市

おもな活動

- ① 宗像国際環境会議（年1回）
- ② 海の再生／竹漁礁作り、海岸清掃
- ③ 地元中高生向けの育成プログラム
- ④ 豊饒祭／稚魚放流行事
- ⑤ 啓発活動

過去の会議

第1回	海の道は未来へのみち	2014.05.30-06.02
第2回	海と生きる ～海と森との共生～	2015.05.22-24
第3回	海からの警告 ～未来は過去から学ぶ～	2016.08.19-21
第4回	大いなる海 生命の循環 ～海の鎮守の森構想～	2017.08.25-27
第5回	水と命の循環 ～自然への感謝と畏怖～	2018.08.24-26
第6回	常若 TOKOWAKA	2019.08.23-25
第7回	常若 自然の摂理と生命の循環	2020.10.23-25
第8回	常若 自然の再生と循環型社会の実現に向けて	2021.10.27-29
第9回	常若 生命の源泉	2022.10.26-28

第10回 宗像国際環境会議

常若 生命文明への歩み

TOKOWAKA

令和5年 10/26 (木) ~ 28 (土) 宗像大社 福岡県宗像市田島 2331

参加費 / 3,000 円 3日間 ※ 交流会 8,000 円 ※ 沖ノ島クルーズ 3,000 円 ※ FASHIONSHOW 5,000 円

主 催 / 宗像国際環境会議実行委員会 共 催 / 三千年の未来会議

後 援 / 環境省 福岡県

10 / 26 (木)	10 / 27 (金)	10 / 28 (土)
13:20 13:40 開会セレモニー	09:00 宗像大社 10:00 施設見学 10:00 ビーチクリーン 13:15 竹漁礁づくり 08:30 11:50 世界遺産神宿る島 沖ノ島周遊 クルーズ	10:00 11:00 SESSION 5 11:15 12:15 SESSION 6 13:00 14:00 SESSION 7
13:45 14:45 SESSION 1 15:00 16:00 SESSION 2	13:45 14:45 SESSION 3 15:00 16:00 SESSION 4	14:15 15:15 SESSION 8 15:30 15:50 閉会セレモニー
17:00 宗像国際育成プログラム ① 18:15 宗像国際育成プログラム ② 18:00 20:00 交流会	17:00 宗像国際育成プログラム ③ 18:15 宗像国際育成プログラム ④ 20:00 21:30 FASHIONSHOW & LIVE	

10 / 29 (日) 11:00 豊穰祭 12:00 稚魚放流 / 竹漁礁沈め

宗像大社神宝館特別展 国宝と現代の名匠「三右衛門」 今泉今右衛門 酒井田柿右衛門 中里太郎右衛門

	10 / 26 (木)	10 / 27 (金)	10 / 28 (土)	10 / 29 (日)
09:00		08:30 移動／ホテル⇒宗像大社 09:00	06:30 移動／ホテル⇒博多港 08:00	
10:00		09:00 宗像大社参拝 施設見学 10:00	08:30 世界遺産 神宿る島 11:50 沖ノ島 周遊クルーズ	09:30 移動／ホテル⇒宗像大社 10:00
11:00		10:00 移動／宗像大社⇒会場 10:30 10:30 ビーチクリーン 13:15 竹漁礁づくり (弁当)	博多湾⇒沖ノ島⇒博多湾	10:30 移動／ホテル⇒宗像大社 11:00
12:00			12:00 移動／博多港⇒宗像大社 13:30 (車中弁当)	11:00 豊饒祭 11:30 移動／宗像大社⇒鐘崎港 12:00
13:00		13:15 移動／会場⇒宗像大社 13:45		12:00 昼食 12:30 12:30 稚魚放流行事 14:30 竹漁礁沈め
14:00	13:20 開会セレモニー 13:45 Session 1 14:45	13:45 Session 3 14:45	13:00 Session 7 14:00	14:30 移動／鐘崎港⇒東郷駅 15:30
15:00	休憩	休憩	休憩	
16:00	15:00 Session 2 16:00	15:00 Session 4 16:00	14:15 Session 8 15:15	
17:00	16:00 移動／宗像大社⇒ホテル 17:30 チェックイン／休憩		15:30 閉会セレモニー 15:50 17:30 移動／宗像大社⇒福岡市	
18:00	17:30 移動／ホテル⇒会場 18:00	17:30 移動／宗像大社⇒ホテル 18:00 チェックイン／休憩		
19:00	18:00 交流会 20:00 オテルグレージュ		宗像国際育成プログラム 10/26 (木) 17:00 育成プログラム 1 17:30 休憩 17:45 育成プログラム 2 18:15	10/27 (金) 17:00 育成プログラム 3 17:30 休憩 17:45 育成プログラム 4 18:15
20:00	20:00 移動／会場⇒ホテル 20:30	19:30 移動／会場⇒宗像大社 20:00 FASHIONSHOW & LIVE 20:00 21:30		10/1 (日)～令和6年 2/4 (日) 宗像大社神宝館特別展 国宝と現代の名匠「三右衛門」 今泉今右衛門 酒井田柿右衛門 中里太郎右衛門
21:00				
22:00		21:30 移動／宗像大社⇒ホテル 22:00		

第10回 宗像国際環境会議

常若 生命文明への歩み

10/26 Session 1 地球環境問題と玄界灘の海域	
13:45 14:45	speaker 松井 聡史／RKBディレクター 浪口 志郎／玄界灘を守り育てる会代表理事 浪口 知記／唐津マリンスポーツクラブ 小柳 はじめ／三千年の未来会議事務局長
	commentator 中井 徳太郎／三千年の未来会議理事長 日本製鉄顧問 岩熊 正道／RKB毎日放送 代表取締役専務取締役
	coordinator 浜崎 陽一郎／Fusic取締役副社長
10/26 Session 2 廃プラ問題と脱炭素社会	
15:00 16:00	speaker 岩元 美智彦／JEPLAN 取締役執行役員会長 林 光邦／テクノラボ代表取締役社長 木寺 智美／おちかアイランドツーリズム
	commentator 堅達 京子／NHKエンタープライズプロデューサー 白井 賢一郎／KBC九州朝日放送 役員待遇解説委員長 岸本 吉生／ものづくり生命文明機構常任幹事
	coordinator 松永 康志／シャボン玉石けん取締役営業本部長
10/27 Session 3 海と地球環境問題	
13:45 14:45	speaker 伊藤 史雄／環境省地球環境局脱炭素社会移行推進室長 清野 聡子／九州大学大学院准教授 正好 輝旭／鐘崎海士 マサエイ水産加工代表取締役 葦津 幹之／宗像ロータリークラブ
	commentator 中井 徳太郎／三千年の未来会議理事長 日本製鉄顧問 浜崎 陽一郎／Fusic取締役副社長
	coordinator 葛城 奈海／ジャーナリスト

10/27 Session 4 海水温度と異常気象	
15:00 16:00	speaker 堅達 京子／NHKエンタープライズプロデューサー 白井 賢一郎／KBC九州朝日放送 役員待遇解説委員長 更家 悠介／サラヤ代表取締役社長
	commentator 吉田 知弘／国際ロータリークラブ第2700地区ガバナー 桑村 勝士／宗像漁業協同組合理事 三浦 崇宏／The Breakthrough Company GO 代表取締役
	coordinator 葛城 奈海／ジャーナリスト
10/28 Session 5 生命文明とは	
10:00 11:00	speaker 安宅 和人／慶應義塾大学教授 ヤファーCSO 中井 徳太郎／三千年の未来会議理事長 日本製鉄顧問 岸本 吉生／ものづくり生命文明機構常任幹事
	commentator 松永 康志／シャボン玉石けん取締役営業本部長 設楽 悠介／幻冬舎「あたらしい経済」編集長 黒田 玲子／東京大学名誉教授
	coordinator 住田 孝之／住友商事常務執行役員
10/28 Session 6 新たな社会に向けて	
11:15 12:15	speaker 野村 泰紀／カリフォルニア大学バークレー校教授 渡辺 創太／Web3起業家 森 勇介／大阪大学教授
	commentator 中井 徳太郎／三千年の未来会議理事長 日本製鉄顧問 安宅 和人／慶應義塾大学教授 ヤファーCSO 岸本 吉生／ものづくり生命文明機構常任幹事
	coordinator 設楽 悠介／幻冬舎「あたらしい経済」編集長

10/28 Session 7 環境問題と経済	
13:00 14:00	speaker 佐藤 清一郎／筑邦銀行代表取締役頭取 岩崎 哲／アイ・グリッド・ソリューションズ執行役員 住田 孝之／住友商事常務執行役員
	commentator 伊藤 史雄／環境省地球環境局脱炭素社会移行推進室長 岩熊 正道／RKB毎日放送 代表取締役専務取締役 小柳 はじめ／三千年の未来会議事務局長
	coordinator 設楽 悠介／幻冬舎「あたらしい経済」編集長
10/28 Session 8 常若 生命文明への歩み	
14:15 15:15	speaker 中井 徳太郎／三千年の未来会議理事長 日本製鉄顧問 小橋 賢児／大阪万博催事企画プロデューサー 葦津 敬之／宗像国際環境会議副会長
	commentator 伊藤 史雄／環境省地球環境局脱炭素社会移行推進室長 岩熊 正道／RKB毎日放送 代表取締役専務取締役 安宅 和人／慶應義塾大学教授 ヤファーCSO
	coordinator 住田 孝之／住友商事常務執行役員

10/26 (木) 宗像国際育成プログラム	
	speaker 黒田 玲子／東京大学名誉教授 野村 泰紀／カリフォルニア大学バークレー校教授
10/27 (金) 宗像国際育成プログラム	
	speaker 渡辺 創太／Web3起業家 伊藤 慶子／WMIうみ 代表取締役

出演者リスト



中井 徳太郎
前環境事務次官 日本製鉄顧問

昭和37年生。東京大学卒。大蔵省入省、主計局主査などを経て富山県庁。日本海学の確立普及に携わる。財務省理財局計画官、主計局主計官などを経て東日本大震災後2011年環境省。総合環境政策局総務課長、大臣官房会計課長、大臣官房秘書課長、大臣官房審議官、廃棄物・リサイクル対策部長、総合環境政策統括官、2020年事務次官、2022年顧問。



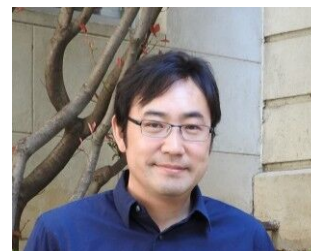
安宅 和人
慶應義塾大学教授 ヤフーCSO

データサイエンティスト協会理事。マッキンゼーを経て、2008年ヤフー。前職のマッキンゼーではマーケティング研究グループのアジア太平洋地域中心メンバーの一人として幅広い商品事業開発、ブランド再生に関わる。ヤフーでは2012 CSO。途中データ及び研究開発部門も統括。2016 慶応義塾SFCでデータサイエンスを教え、2018 秋より現職。



住田 孝之
住友商事常務執行役員

昭和37年生。通商産業省。91年ジョージタウン大学国際政治大学院。特許庁、環境庁、経済連携交渉官、知的財産政策室長、技術振興課長、情報通信機器課長、日本機械輸出組合ブラッセル事務所長、資源燃料部長、商務流通保安審議官を経て、2017年内閣府知的財産戦略推進事務局。クールジャパン戦略策定を主導。20年12月から住友商事。



野村 泰紀
カリフォルニア大学
バークレー校教授

物理学者。理学博士。専門は素粒子論、宇宙論。バークレー理論物理学センター所長。ローレンス・バークレー国立研究所上席研究員。理化学研究所上級研究員。東京大学カブリ数物連携宇宙研究機構連携研究員。余剰次元、統一理論等の素粒子理論現象論、量子重力理論、マルチバース宇宙論等に幅広い活動がある。



葛城 奈海
ジャーナリスト

防人と歩む会会長、やおよろずの森代表。東京大学農学部卒業後、自然環境問題・安全保障問題に取り組み、森づくり、米づくり、漁業活動等の現場体験をもとにメッセージを発信。2011年から尖閣諸島海域に漁船で15回渡り、現場の実態をレポート。産経新聞『直球&曲球』連載中。



岩熊 正道
RKB毎日放送代表取締役専務取締役

昭和37年生。1986年RKB。報道部記者、東京支社テレビ営業部、米国テレビメディア研修を経て、1999年テレビ編成部副部長、プロデューサー、日本レコード大賞審査委員。2008年メディア事業局コンテンツ開発部長、福岡アジアコレクションプロデューサー。2013年メディア事業局次長兼コンテンツ事業部長、2014年メディア事業局長。2021年より現職。



松永 康志
シャボン玉石けん取締役営業本部長

1973年、福岡県生まれ。早稲田大学社会科学部を卒業後、電機や食品、家庭用品などの外資系グローバル企業にてマーケティング業務に従事。2009年12月にシャボン玉石けん入社。商品企画、広告、広報、販促などのマーケティング業務に従事。2014年からはマーケティング部、営業部、お客様相談室（通信販売部）の3部門を統括。2019年からはSDGsも推進。



黒田 玲子
東京大学名誉教授 中部大学特任教授

東京大学名誉教授、スウェーデン王立科学アカデミー会員、TWAS Fellow、ローマクラブ会員、W20運営委員、東京大学教養学部・大学院総合文化研究科助教授・教授、2012年東京理科大学教授、2019年中部大学。ロレアルユネスコ女性科学賞、猿橋賞、日産科学賞、山崎貞一賞、全国日本学士会アカデミア賞、文部科学大臣表彰、内閣総理大臣表彰。



岩元 美智彦
JEPLAN 取締役執行役員会長

1964年鹿児島県生まれ。北九州市立大学卒、繊維商。1995年容器包装リサイクル法の制定を機に繊維リサイクルに深く携わる。2007年現社長の高尾正樹と日本環境設計を設立。資源が循環する社会づくりを目指し、リサイクルの技術開発だけではなく、メーカーや小売店など多業種の企業とリサイクルの統一化に取り組む。



岸本 吉生
ものづくり生命文明機構常任幹事

1962年神戸市生。85年経済産業省。06年NPOものづくり生命文明機構を立ち上げ常任幹事。10年愛媛県警察本部長、14年九州経済産業局長、18年中小企業基盤整備機構シニアリサーチャー。農山漁村を抱える市町村デジタル時代のマーケティングを実践して自然、文化、価値創造で地域が元気になる社会貢献をテーマに全国各地を調査研究。

出演者リスト



更家 悠介
サラヤ代表取締役社長

1951年生まれ。1974年大阪大学工学部卒業。1975年カリフォルニア大学バークレー校工学部衛生工学科修士課程修了。1976年サラヤ株式会社入社。取締役工場長を経て1998年代表取締役社長に就任、現在に至る。1989年日本青年会議所会頭、(財)地球市民財団理事長などを歴任。



森 勇介
大阪大学教授

大阪大学卒業、同大学院工学研究科修了、大阪大学助手、講師、助教授、平成19年教授。結晶に関連する研究成果の事業化のために平成17年創晶、平成28年創晶超光を起業。平成25年創晶應心はカウンセリングを手掛ける大学発の異色ベンチャーで心理学的アプローチによる創造力の活性化を提唱。



浜崎 陽一郎
Fusic取締役副社長

2003年九州大学大学院在学中に同級生の納富（現・代表取締役）とFusicを起業。クラウドコンピューティング及びAI、人工衛星データの利活用を柱に事業展開。23年3月、東京証券取引所グロース市場及び福岡証券取引所Qボードに重複上場。RKB毎日放送「サンデーウォッチ」レギュラーコメンテーター、KBC朝日放送「アサデス。ラジオ」コメンテーターも務める。



渡辺 創太
Web3起業家

1995年生まれ。慶應義塾大学経済学部卒。インド、ロシア、中国、アメリカでインターンシップ活動を経験後、2018年シリコンバレーのブロックチェーンスタートアップChronicleに就職。帰国後、東京大学大学院ブロックチェーンイノベーション寄付講座共同研究員（2019-2020）を経て、Stake Technologiesを現CTOと創業。



清野 聡子
九州大学大学院准教授

東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻広域システム科学系助手助教、教養学部広域科学科広域システム分科助手、助教専門を経て現職。専門は沿岸・流域環境保全学、水生生物学、生態工学。漁場の開発と保全の調整、希少生物生息地の再生、地域住民や市民の沿岸管理への参加、水関係の環境計画や法制度。



堅達 京子
NHKエンタープライズ
エグゼクティブ・プロデューサー

1988年NHK入局。報道番組ディレクターを経て、2006年よりプロデューサー。NHK環境キャンペーンの責任者を務め、気候変動をテーマに多くのドキュメンタリーを制作。NHKスペシャル「激変する世界ビジネス 脱炭素革命の衝撃」放送。著書「脱プラスチックへの挑戦」。日本環境ジャーナリストの会副会長。



臼井 賢一郎
KBC九州朝日放送
役員待遇解説委員長

1988年入社。98年ベルリン支局長。ユーゴ革命など欧州情勢をルポ。報道部長、編成部長、報道局長等を経て「アサデス。KBC」などでコメンテーター。ドキュメンタリー「捜査犯罪」（民放連賞）「沖ノ島〜藤原新也が見た祈りの原点」（ワールドメディアフェス銀賞）



松井 聡史
RKBディレクター

カメラやパソコンよりも土を触っている時間の方が圧倒的に長いRKB農園部（自称）。最近の仕事は、生ごみのコンポスト、畑の水やり、除草作業、野菜の販売、そして時々、番組企画書の作成。RKBラジオやおし堂ではレギュラーでコーナーを持ち、SDGsを発信している。



相川 七瀬
歌手

大阪市出身。1995年「夢見る少女じゃいられない」からのCDトータルセールスは1200万枚を超える。音楽活動以外にも小説「ダリア」、「神結び」、「縁結び」、「太陽と月の結び」などを執筆。総社市（岡山）、対馬市（長崎）、南種子町（鹿児島）の赤米大使としても活動している。現在、國學院大学神道文化学部在籍中。



西内 ひろ
モデル
宗像国際環境会議アンバサダー

2014年ミスユニバースジャパンコンテスト東京大会 グランプリ受賞。ミスユニバースジャパンで準グランプリを獲得し、モデルや女優タレントとして精力的に活動。2018年よりフィリピン観光親善大使として、ボランティア活動やボラカイ島の清掃等、環境問題に取り組んでいる。2018年ASEANツーリズムアワードジャパンインフルエンサー賞受賞。

出演者リスト



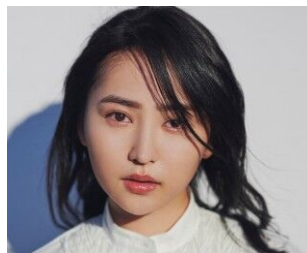
平 祐奈
女優

1998年、兵庫県生まれ。國學院大學神道文化学部を卒業し、神職の資格を有する。趣味、神社巡り、御朱印集め、家庭菜園、発酵食品作り。特技、キックボクシング、着付け、クラシックバレエ、ダンス。映画、ドラマ、舞台の主演を始めCM出演など幅広く活躍中。



尾花 貴絵
モデル

2010年JMAAモデルオブザイヤー新人賞受賞。モデル、女優、タレントとして多角的に活躍。世界ふしぎ発見等の番組リポートやNEWS everyでは長年にわたり出演している。食生活指導士やスポーツフードマイスター等の資格を数々取得し、健康・ビューティーにも精通している。現在、SDGsの取り組みを積極的に行い、ビーチクリーンやフードロスイベントにも出演している。



倉中 るな
モデル

1997年3月生、愛知県出身。愛知県名古屋市長芸高校デザイン学科卒業。名古屋学芸大学デザイン学科卒業。ミス・ユニバース2019全国大会ファイナリストトップ5入賞。現在、女優、モデル、デザイナーとして活動中。



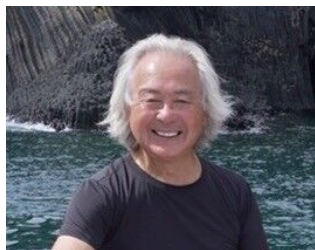
浅野瑞穂
舞踊家

国立音楽大学リトミック科在学中、鳳仙功舞踊団入団。中国古典・民族舞踊を学び、北京公演等数々の舞踊公演で活躍。舞踊団退団後、古式「巫女舞」及び日本の古典・民俗芸能と出会い、音魂・形魂を学びながら、自らのオリジナルスタイルの舞「瑞穂舞」を創始。天界を舞うような美しい舞スタイルから「天女の舞」とも呼ばれる。



伊藤 慶子
WMI うみ 代表取締役

静岡県出身。北海道大学水産学部卒。元北海道庁職員。賞味期限切れの野菜など食品ロスを原料として作った「みんなのねんど」を企画販売。ねんどは使用後、自然環境下で分解・資源循環される。同商品を使用したイベントを各地で開催するなど、精力的に活動中。



浪口 志郎
玄界灘を守り育てる会代表理事

1947年唐津の漁師家生まれ。日本電信電話公社勤務を経て、1988年唐津にてダイビングスクールを創業。玄界灘の水中記録、問題提起・警鐘をライフワークとし、76歳の現在も年間200日以上玄界灘に潜る。NPO法人玄界灘を守り育てる会代表理事。



浪口 知記
唐津マリンスポーツクラブ

1987年生。10歳から玄界灘に潜り、会社勤務を経て2014年から同社勤務、2023年より現職。愛する唐津の海を守るために、一般ダイバーと共に海岸・海中の清掃や藻場の保全を行い、講演会やSNSなどで唐津の海の現状や生物変化について情報発信している。



小柳 はじめ
三千年の未来会議事務局長

1965年生まれ。開成高校・東京大学法学部・電通勤務を経て2019年から現職。マーケティング・ブランディングから財務・コンプライアンス・サステナビリティまで幅広く企業を支援する多項目コンサルタント。趣味は玄界灘でのダイビング。



林 光邦
テクノラボ代表取締役社長

プラスチック製品の開発を手掛けるテクノラボを2004年に創業。毎年60〜80件程度の製品開発を行っている。プラスチック素材をこよなく愛するアラフィフ。2018年より捨てられたプラスチック達を社会に還元する、保護犬ならぬ保護プラ活動を始める。この活動のためのbuoyというブランドを通して、プラスチック愛の普及活動を画策中。



木寺 智美
おちかアイランドツーリズム協会事務局長

長崎県五島列島北部小値賀島にある観光協会、おちかアイランドツーリズム協会勤務。アイランドツーリズム（島暮らし体験）を通して、島の文化・自然・景観などを未来に残し伝え、町が元気になる為の様々な活動を行っている。出身は神奈川県。2012年より小値賀島に移住、2022年より現職。

出演者リスト



伊藤 史雄
環境省地球環境局脱炭素社会移行推進室長

2000年に環境庁入庁。PM2.5等の大気環境基準策定業務、フロンガス規制等のオゾン層保護対策業務、海洋プラスチックごみ対策に関するG20国際交渉業務など、様々な環境政策の企画立案や施行に携わる。2022年7月から現職にて、NDC（温室効果ガス削減目標等）の策定業務やブルーカーボンなど吸収源対策業務等を担当。



原 杏奈
俳優

岐阜県出身。趣味:御朱印集め、アニメ鑑賞 特技:料理、恋愛心理学 資格:フードアナリスト検定、ナチュラルフードコーディネーター、ピアカウンセラー、動物健康管理士、動物介護士。陸王、ブラックペアン、下町ロケット (TBS)



設楽 悠介
幻冬舎「あたらしい経済」編集長

幻冬舎でブロックチェーン暗号資産専門メディア「あたらしい経済」創刊。幻冬舎コミックス取締役兼務。Fukuoka Blockchain Allianceボードメンバー。スポットライト/RKB毎日放送、テンカイズ/TBSラジオレギュラー出演。みんなのメンタールーム (Amazon audible) 他ポッドキャストを多数配信。『畳み人という選択』プレジデント社。



佐藤 清一郎
筑邦銀行 頭取

1971年、日本勧業銀行入行。1998年、第一勧業銀行証券企画部長。1999年、同行取締役欧州支配人兼ロンドン支店長。2002年、みずほコーポレート銀行常務執行役員欧州地域統括。2004年、みずほ証券取締役副社長。2006年、当行顧問。2006年、取締役副頭取。2009年、取締役頭取。2017年、取締役頭取(執行役員兼務)(現職)。



正好 輝旭
鐘崎海士
マサエイ水産加工代表取締役

先祖代々、海士の家系。海士として鐘崎の漁業に携わり、アカモクなどの海藻を中心とした水産加工会社を2018年に設立。フードロス削減に向け、製造過程で廃棄されるアカモクの未利用部分の活用に、異業種との共同研究で挑戦中。



岩崎 哲
アイ・グリッド・ソリューションズ 執行役員

鹿児島県出身。1978年生まれ。東京大学大学院にて、環境学とウェアラブルコンピューティング・センサネットワークを研究。その後15年間AIベンチャーにて経営に従事し、ビッグデータ・AI・DXの研究開発・事業開発を担当。事業の立上げ・組織運営やAIの技術開発・顧客プロジェクトのマネジメントを担う。2020年現職。博士(環境学)。



小橋 賢児
大阪万博催事企画プロデューサー

1979年東京都生まれ。2007年に俳優活動を休止。世界中を旅した後、起業し「ULTRA JAPAN」などの大型海外イベントを日本で実現させ、総合プロデュースした未来型花火エンターテインメント「STAR ISLAND」が、内閣府主催「クールジャパン・マッチングフォーラム 2017」の審査員特別賞を受賞。



田中 健
俳優

福岡県出身。1993年「報知映画賞」で最優秀主演男優賞、「日本映画批評家大賞」で最優秀主演男優賞を受賞。2001年日本テレビドラマ「取調室」、2010年テレビ東京ドラマ「戦国疾風伝 二人の軍師 ～秀吉に天下を獲らせた男たち」などに出演。映画では、1974年「俺たちの旅」、2011年「夜明けの街で」などに出演。



桑村 勝士
宗像漁業協同組合理事

1967年生。京都大学大学院農学研究科水産学専攻修士課程修了。93年福岡県の水産技術吏員として水産行政、試験研究に従事。13年退職後、同年より宗像漁業協同組合所属の中型まき網漁業乗組員として漁業に従事。現在、漁を続けながら、その経験を材料に現場の視点から、水産資源管理、海洋環境保全及び漁業経営改善の実践を模索。



葦津 幹之
宗像ロータリークラブ

昭和41年生。平成元年に皇學館大学文学部神道学科を卒業し、同年宗像大社に奉職。同27年に現職の権宮司に就任。地域活動では宗像青年会議所の副理事長、宗像観光協会副会長、宗像地区防災協会会長等を歴任する。宗像ロータリークラブにおいては現在、国際社会奉仕委員長を務める。

出演者リスト



吉田 知弘
国際ロータリー第2700地区ガバナー

1967年生。弁護士。企業間争訟対応・一般企業法務のほか、行政庁の訟務対応等まで広く扱う。職業関連業務として、福岡県弁護士会副会長（2015年度）、法テラス福岡副所長（2017-2021年度）西南学院大学法科大学院教（2011-2021年度）等を歴任。日本民事訴訟法学会会員・日本法律家協会会員。酒と酒を育む山水をこよなく愛する。



三浦 崇宏
The Breakthrough Company
GO 代表取締役

2007年 博報堂マーケティング・PR・クリエイティブの3領域を経験、TBWA/HAKUHODOを経て2017年独立。Cannes Lions、PRアワードグランプリ、ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS グランプリ/総務大臣賞など受賞多数。大学での講師や、テレビの情報番組でコメンテーターなども務める。



小林 正勝
宗像国際環境会議会長
一般社団法人宗像観光協会会長

昭和35年宗像市生まれ。御宿はなわらび代表取締役。福岡県旅館ホテル生活衛生同業組合副理事長、合同会社宗像七浦代表。宗像地域の観光事業促進のみに留まらず広域の観光事業及び環境問題にも取り組む。



葦津 敬之
宗像大社宮司 宗像国際環境会議副会長

昭和37年生。昭和60年熱田神宮、同62年神社本庁、総務課長、情報管理課長、教学課長、国際課長、財務部長、広報部長を経て、平成24年宗像大社、同27年宮司。



養父 信夫
宗像国際環境会議事務局長

昭和37年生。「九州のムラ」編集長として、地域に生きる人々の暮らしを中心に取材を重ね、ムラとマチを繋げる。また講演や地域づくりのアドバイザーなど、グリーン・ツーリズムやスローフード運動の啓発活動も積極的に行っている。

宗像国際育成プログラム

10月26日～27日



10月27日 博多湾⇒沖ノ島⇒博多湾



神宿る島「沖ノ島」

玄界灘に浮かぶ沖ノ島は、延々と続く水平線から突然現れる。初めてこの島を見た人々は誰しも口を揃えて「神々しい」という。島の正面には左右に大きな岩島があり、右側が御門柱、左側が小屋島と呼ばれ、船で渡島する際にはこの岩の間を抜けるようになっている。

沖ノ島は岩盤が隆起した島であるため、渡り鳥以外の動物は生息していない。そのため、ここには世界の渡り鳥が飛来し、絶滅危惧種の珍しい鳥も数多く確認され、島全体が国の鳥獣保護区に指定されている。

白い岩の島肌の上には風雨に耐えてきた原始林の森が生い茂り、独自の生態系が維持され、貴重な自然保護区にもなっている。神が降臨されたという祭場は、巨岩が集中的に点在した場所があり、磐座（いわくら）として祀られている。磐座とはかつての古い神社の形であるが、今も沖ノ島は神の神聖な岩として崇められている。そして、10日交代で島を守る神職は、毎日、海で禊をし、不規則な段差の400段の階段を登り、お供えを上げ、今でも国の平安と繁栄が祈られている。

フィールドワーク

10月27日



FASHIONSHOW & LIVE

10月27日



豊饒祭 稚魚放流／竹漁礁沈め

10月29日

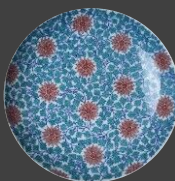


今泉今右衛門 酒井田柿右衛門 中里太郎右衛門

A circular, ornate metal plate, likely a decorative cover or a small mirror, featuring a central knob and a ring of raised, rounded elements. The plate has a greenish patina, suggesting it is made of a metal like bronze or copper. The central knob is surrounded by a ring of raised, rounded elements, possibly representing a sunburst or a floral motif. The outer edge of the plate is slightly irregular and shows signs of wear.



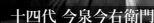
A small, dark, ornate metal container, possibly a perfume bottle or a small jar, with intricate carvings and a lid. The container is spherical with a lid, featuring a complex, carved design of floral or foliate motifs. The lid has a small, circular opening in the center. The overall appearance is that of an antique or traditional metalwork object.



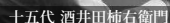
A dark, rounded ceramic vessel with a short neck, identified as a 'Vase'. The surface appears slightly textured and aged.



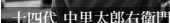
A circular metal plate, likely a coin or medallion, featuring a central knob and concentric bands of text in an ancient script, possibly Pahlavi or Sogdian. The plate is shown against a dark background.



- 1962年 佐賀県有田町に生まれる。
- 1985年 武蔵野美術大学工芸工芸デザイン学科卒業。
- 1988年 京都府・鈴木清先生に師事。
- 1990年 13代今泉右衛門の許、茶会に従事。
- 1998年 日本伝統工芸士協会工芸会会長賞受賞。
- 2002年 十四代 今泉右衛門を襲名。
- 2009年 紫綬褒章授章。
- 2014年 重要無形文化財「色絵磁器」の保持者（人間国宝）に認定。
- 2018年 日本陶芸美術協会会長に推挙される。
- 2020年 日本工芸会副理事長に推挙される。
- 2023年 日本陶磁協定会賞受賞。



- 1968年 佐賀県有田町に生まれる。
- 1991年 多摩美術大学絵画学科を中退。
- 1994年 第十四代酒井田柿右衛門に師事。
- 2010年 第45回西田佐統工芸展にて初入選。
- 2010年 第37回日本伝統工芸展にて初入選。
- 2012年 有田陶芸協会会員となる。
- 2013年 国・重要無形文化財保持者団体「柿右衛門製陶技術保存会」会長に就任。
- 2014年 第十五代酒井田柿右衛門を襲名。
- 2014年 佐賀県陶芸協会会員となる。
- 2019年 日本陶芸美術協会会員となる。



1957年 十三代中里太郎守衛門の長男に生まれる。
1979年 武蔵野美術大学造形学部彫刻学科卒業。
1981年 同大学大学院卒業。
1983年 中里太郎守衛門陶房にて作陶をはじめ。
1984年 叩き唐津津付盛（貝緑）にて、日展初入選。
1990年 第22回日展にて特選受賞。
1991年 日工会評議員となる。
1992年 佐賀県陶芸協会会員となる。
2000年 第5回アジア工芸展にて文部大臣賞受賞。
2002年 第十四代中里太郎守衛門を襲名する。

一般財団法人 三千年の未来会議

一般財団法人「三千年の未来会議」は、現代文明が人類の生存環境を蝕んできたことに気づき、生命を繋ぐための環境創造の道筋を見出すため、日本の文化と地域社会の創生を目的とするとともに、その目的に資するための事業を行います。

- (1) 気候危機、感染症危機についての最新科学情報に関するセミナー、講座、番組等の事業。
- (2) 自然への畏敬の念を根幹とする「祭り」や「神楽」等の文化遺産を通じた気候危機からの創生のための啓蒙活動。
- (3) 地球環境、特に水の大切さを訴求する文化、芸術などをさまざまなコンテンツを活用して国内外に発信する事業。

代表理事 中井 徳太郎 日本製鉄 顧問

理事 岩熊 正道 RKB毎日放送 代表取締役専務取締役

浜崎 陽一郎 Fusic 取締役副社長

小原 壮太郎 the Organic 代表理事

評議員 森 勇介 大阪大学教授

本多 聡介 アイ・グリッド・ソリューションズ 代表取締役会長

前多 俊宏 エムティーアイ 代表取締役社長

神谷 光亮 藤木工務店 取締役専務執行役員

葦津 敬之 宗像大社宮司

監事 鍋島 英幸 シグマクシス・ホールディングス 副会長

第9回宗像国際環境会議 宗像宣言

世界で多発する異常気象や大規模災害は言うまでもなく、人々の営みの中で自然へのダメージを蓄積させた人災であり、近年、その速度が早まっています。

宗像国際環境会議では、草創期にIPCCの議長をお招きし、これからの環境問題について学んできましたが、その予測は残念ながら的中しており、人類はこの状況を諦めるのか否か、正に大きな決断の時を迎えています。

第9回宗像国際環境会議では「生命の源泉」をテーマに3日間議論をしてきましたが、迫りくる危機的状況を回避するには、人類全体の価値観の大きな転換、そして社会そのものの在りようを変えていく必要があります。

生命の源泉である森里川海。自然界では物質は絶えず循環し、生まれ変わり続けることで維持されてきました。古より人々はこの自然を畏れ敬い、そしてその恵みに感謝し、生命を紡いできました。

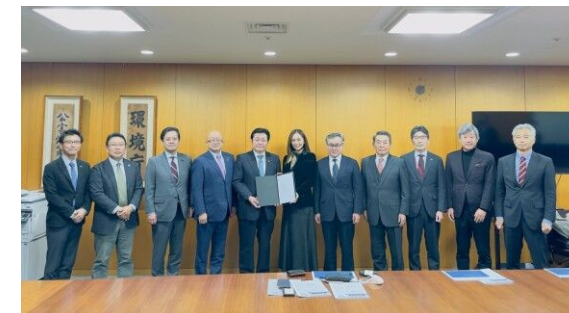
私たちは、宗像の地に集い、宗像国際環境会議のメインテーマである「常若」を議論し、地球の7割を占める海を健全な状態に取り戻すために、「自然との関わり方」を学び、自然を再生するための取り組みを進めてきました。

人類が築き上げてきた、既存の価値観は限界を迎えており、地球の生命に立ち返り、生命を源とした価値観の転換が急がれます。

100年、1000年、を見据えた『常若な社会』の実現にむけて、行動し続けていくことをここに宣言します。

令和4年10月28日

第9回宗像国際環境会議関係者一同



2022年12月23日
西村環境大臣へ宗像宣言を手交